

---

# 右京VSコナン

ミスター

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

右京VSコナン

### 【Zコード】

Z1685Z

### 【作者名】

ミスター

### 【あらすじ】

これは作者ミスターが短編で書いていく小説 右京VSコナンのリメイク版です 短編の連載はいたしませんので了承ください

12月1日 21時45分 東京都米花町  
米花町の某所で黒ずくめの組織が取り引きをしていた

ウオッカ「例の物は？」

取引相手「これだ」

何かの資料を渡す

取引相手「お礼は？」

ウオッカ「お礼ならちゃんとありますで」

と黒バックから現金を取り出すウオッカ

取引相手「取引成立だな」

ウオッカ「ああ」

女「きや」

若い女性の悲鳴が

そして長髪の男が出てきた

ジン「なんでハガネがここにいるんだ？」

ハガネ「上の命令よ」

そう彼女は答えた

ジン「あの方か…」

ジンはつぶやいた

ウオッカ「どうしますか？ 兄貴」

ジン「たとえあの方の命令でも

取引を見た物は殺す」

そう言って薬みたいな物を出した

ハガネ「なにするの！」

ジン「決まっているだろ 例の薬で

お前を殺す！」

そう言って無理やり薬を飲ませるジン

ジン「ずらかるぞ」

ウォッカ「了解！」

ジン（あばよハガネ）

その場から消えたジンとウォッカと取引相手

ハガネ「体が熱い！」

そう言って氣を失つていった…

ハガネ「杉下警部なら」  
と急いで花の里へ向かうハガネ

花の里では

たまき「お茶つけにします?」

右京「わさびは多めに」

たまき「わかつてます」

薰が入つて來た

たまき「いらっしゃい」

薰「うつす」

その後に小野田が來た

たまき「あらおめずらし」

小野田「杉下と同じ物を」

たまき「わかりました」

右京「僕に何か用ですか?」

小野田「ああ 久々孫から電話があつたんだ」

右京「どうこう?」

小野田「出でないよ」

右京「はい?」

小野田「どうせ あれが欲しい これが欲しい  
の催促電話だと思つから」

右京「何時頃電話があつたんですか?」

小野田「20時23分」

右京「そんな時間に催促の電話を彼女が入れるとは思ひませんか  
何者かに追わられて命の危険にさらされてる」

小野田「なるほど」

その後まだ一人客が…  
たまき「いらっしゃい」

客はハガネだった

薰「子供のようですね」

右京「ええ」

小野田「君 もしかして優花か?」

ハガネ「……」

ハガネは沈黙する

薰「優花って官房長のお孫さん……」

右京「ええ 確か高校生くらいだと官房長から聞いてます」

ハガネ「私は優花よ！」

と叫んだ

小野田「何でこんな姿になつたか  
話してくれるよね?」

優花「わかつたわ全て話す

つづく

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1685z/>

---

右京VSコナン

2011年12月5日23時46分発行